

LADDER コミュニケーションシステムをお買い求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの説明をお読みください。

#### 歯科医師用の基本操作

LADDER は、衛生室に保管し、診断目的のために 1 日あたり 2 名の患者を選びます。

LADDER 画像に習熟するまで、必要に応じ何日でもこれを続けます。

#### 手順

右上の中切歯 (#8 歯) のみを確認し、透光性フォーマットの判定から始めます。該当する画像を見つけ出し、フォーマットをメモします。次に小冊子の最初のページ (これらのページを上下逆さまに見ます) に記載された画像に基づき、透光度を決定します。透光性の色相を決定することも可能です。特性化、表面構造、彩度、値についても同じ手順を行います。

この練習は、石灰化不全がどのように現れるかに習熟するため、石灰化不全に関して特に重要な意味を持っています。シェードとしてマッピングされるのではなく、具体的な特徴として石灰化不全を診断できることので、邪魔するものなしでシェードをより容易かつ正確に判断できるようになります。

大多数の患者は、低い透光度 (UT-L) で均一な透光性 (UT) を持ち、ある割合は、何らかの形の石灰化不全を持ち、多くは、線形表面構造 (SA-1、SA-2) を持っています。これは、透光度ページの最初のページ、透光性形式ページの最初のページ、特性化ページの最初のページ、表面構造ページの最初のページに変換されます。

#### 追加メモ

LADDER はまた、臼歯の特性化の処方および患者教育に利用することができます。

#### LADDER の構造

LADDER は、パートナー機器として考案されています。歯科クリニックと技工士は、参照できるよう各人でこの小冊子を持っている必要があります。こうすることにより、診断、コミュニケーション、その後の修復において同一画像を参照できます。LADDER と特性化との関係は、シェードガイドとシェードとの関係と同じです。

LADDER は、天然の歯の外見上の特徴を描く、22 ページにわたる 84 枚の画像から構成されています。これらの特徴は分類され、カテゴリ別にページ見出しおよび裏表紙において色分けされ索引として利用できます。各画像は、簡単に参照できるよう、また LADDER Rx 書式への入力が簡単になるよう記号化されています。

画像の色調は正確であり、描かれている特徴が現実のもので、写実的な外見です。画像のデジタル操作により、これらの特徴は印刷しても正確に保たれますし、他の邪魔になるものなしに単一の特徴だけに焦点を合わせることもできる参照物を作成することも可能です。

特徴は、単一特徴フォーマットあるいは複合特徴フォーマットいずれかで提示されます。Template (T) すなわち単一特徴画像では、ひとつの特徴のみが変更のない背景に対して提示されます。Composite 画像では、特定のカテゴリの単一の特徴が他のカテゴリの複数の特徴と共に提示されます。Template 画像において単一の特徴を表示できるので、これらの特徴の認識を展開あるいはリファインすることが可能となります。Composite フォーマットで単一の特徴を表示できるので、単一の特徴の表示に他の特徴がどのように影響するか確認することができます。

#### 使用の手順

ステップ 1 - TRANSLUCENCY FORMAT ページから “*translucency format*” を選びます。LADDER Rx 上の透光性アウトラインで透光性フォーマットの希望する場所を描きます。

ステップ 2 - DEGREE OF TRANSLUCENCY ページから “*degree of translucency*” を選びます (最初のページを用いて上下逆さまに表示するのが簡単です)。透光性コードに ‘L’、‘M’、‘H’ いずれかを追加します (つまり UT-H は高コントラストの均一透光性を意味します)。

ステップ 3 - 必要に応じ、TRANSLUCENCY HUE ページに基づき “*translucency hue*” を決定します。透光性アウトラインで LADDER Rx に加えます (つまり VT-H は高コントラストのバイオレット透光性色合いを意味し、UTV-H は高コントラストの均一バイオレット透光性色合いを意味します)。

メモ：透光性色合いページでは、**組織の色合い**も表示されます。

ステップ 4 - 次のセクション (すなわち HYPOCALCIFICATIONS) に進み、画像から石灰化不全部分のパターンを選びます。次に、適切なコードを指定し、LADDER Rx の特性化アウトラインに位置をマッピングします。希望する他の特性化に対しても同じ手順を行います (茶色の変色、クラック線)。

ステップ 5 - 機器 (ガイドあるいはスキャナー) を選択しシェードを選びます。邪魔になるその他の特徴を取り除くことにより、シェードがより簡単に認識できるはずです。お使いのシェード撮影機器に**値や色相**がない場合は、該当する LADDER ページを使用します。

メモ：LADDER を最大限に活用するには、個体的な特徴を伝えるために画像の特定の部分を参照することもできます。例えば、テトラサイクリン画像のマイクロフラクチャー画像は、マイクロフラクチャー画像の場合と比較し、特定の場合の特徴をよりうまく描画できるでしょう。さらに、透光度の画像は、茶色の変色などの他の特徴のコントラストの度合いを正しく伝えるために利用することも可能です。

LADDER は、また術後の特定化や患者教育にも使用することができます。

#### SHADE LADDER

SHADE LADDER は、補助的参照となるよう考案されたもので、LADDER は、直接的な参照物です。(SHADE LADDER の) シェード表示は、Vita A、B、C、D シェードに対する認識に基づくものであり、必ずしも実際の変色を忠実に再現しているものではありません。

SHADE LADDER は、LADDER で描かれている一般的な特徴である、色・質・特性に対するシェードの微妙で時には目立つ影響を示します。